

NEWS RELEASE

「Brilliant60s=輝ける 60 代」2,000 人に聞いた「シニアのリアル調査」結果より

今どきシニアのお金の使い道～「子・孫の帰省編」～

～子や孫が帰省する際の交通費に平均 30,000 円、その他の支出に
平均 48,000 円を負担、更に孫に平均 8,200 円のお年玉も！～

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場信輔、本店：東京都千代田区）は、日本の 60 代を中心とするチャレンジ精神旺盛でアクティブな世代を「Brilliant60s=輝ける 60 代」と名付け、ポジティブな人生をおくるサポートをすべく、シニア層のお客さまへの資産運用コンサルティングに注力しております。

この Brilliant60s 世代に注目し、あおぞら銀行では、コアとなる全国の 55～74 歳の男女 2,072 名を対象に「シニアのリアル調査」を本年実施し、帰省関連で下記のような結果が出ました。

<「シニアのリアル調査」結果のうち「子や孫の帰省」に注目！（詳細は別紙のとおり）>

1. 子どもたち、孫たちの帰省代を払う今どきのシニア！

～シニアの二人に一人が子や孫の帰省時の交通費を負担。その額平均 3 万円！～

- ★ 調査対象のシニア世代のうち、「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は 65.5%（前年比-1.2%）。そのうち、約半数が「交通費を負担している」と回答。平均負担額は 30,000 円（前年比-1,000 円）と去年から微減という結果ながら、前年同様に負担。男女別では、男性シニアの平均支出額は 27,300 円、対して女性シニアは 33,100 円と女性シニアの方が平均で約 6,000 円多くお金を使っている。

2. 子や孫の帰省時には、お金を惜しまない！？ 今年も、女性は太っ腹！

～交通費以外の平均支出額は、去年から変わらず 48,000 円～

- ★ 子や孫の帰省時に使う金額（交通費以外）は、「3～5 万円未満」(23.8%)との回答が最も多く、平均では前年と変わらず 48,000 円。男女別では、男性シニアの平均支出額は 41,600 円、対して女性シニアは 53,100 円と女性シニアの方が平均で約 12,000 円多くお金を使っている。

3. 孫へのお年玉相場は昨年から微増！ 関東のお年玉はアップなるも、依然、西高東低！

～孫へのお年玉の平均は、8,200 円。関西の方が関東に比べて 500 円高い～

- ★ 孫へのお年玉の金額(小学生の場合を想定、一人あたり)は、全体の平均が 8,200 円（前年比 500 円増）。
- ★ 関東(東京、神奈川、埼玉、千葉)のお年玉金額が、8,500 円（前年比 1,500 円増）と大幅アップ。一方、関西（大阪、京都、兵庫、奈良）は 9,000 円（前年比 300 円増）と微増。昨年同様、関西の方が関東より高いが、その差が縮まる結果になった。年代別では、70 代前半が 8,800 円と多く、孫の年齢の影響か、年齢が若くなるほど少なくなっている。（60 代 8,200 円、50 代後半 6,100 円）

（報道関係のお問合せ先：経営企画部（名和） 03-5212-9252）

<調査概要>

【調査目的】

シニアの方々の暮らしぶり・老後の意識・資産運用・旅行や外食・趣味・お子さまやお孫さまについてなど、様々な視点からお金に関連する実態やその意識を調べる。

【調査対象者】

全国 55～74 歳の男女 合計 2,072 人

【調査内容】

インターネット調査 2015 年 8 月 6 日（木）～2015 年 8 月 8 日（土）実施

【金融資産背景】

当調査対象者の平均金融資産額：50 代後半 1,734 万円、60 代 2,217 万円、70 代前半 1,970 万円

一般(二人以上の世帯)の平均金融資産額^(*)：50 代 1,124 万円、60 代 1,765 万円、70 歳以上 1,598 万円

(*)出典：2014 年金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」調べ

1. 子どもたち、孫たちの帰省代を払う今どきのシニア！

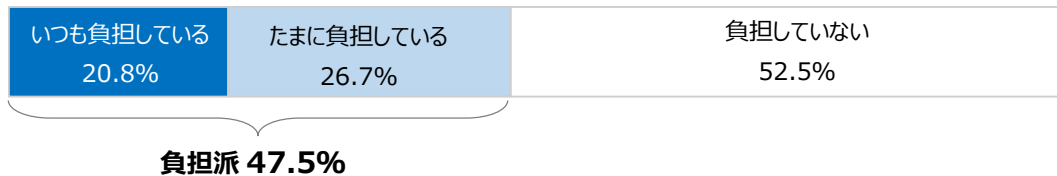
～シニアの二人に一人が子や孫の帰省時の交通費を負担～

「子や孫が帰省してくる時に交通費を負担しているか？」を質問。

「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は 65.5%（前年比-1.2%）。そのうち、子や孫が帰省する時に、交通費を負担している「負担派」シニアは 47.5%で約半数が負担しているという結果になった。（【図 1】参照）

- ・負担派 : **47.5%**（前年比 1.1%減） 「いつも負担している + たまに負担している」
- ・非負担派 : **52.5%**（前年比 1.1%増） 「負担していない」

図 1 「負担派」 v s 「非負担派」（対象：帰省する子供・孫がいるシニア 1,133 人）

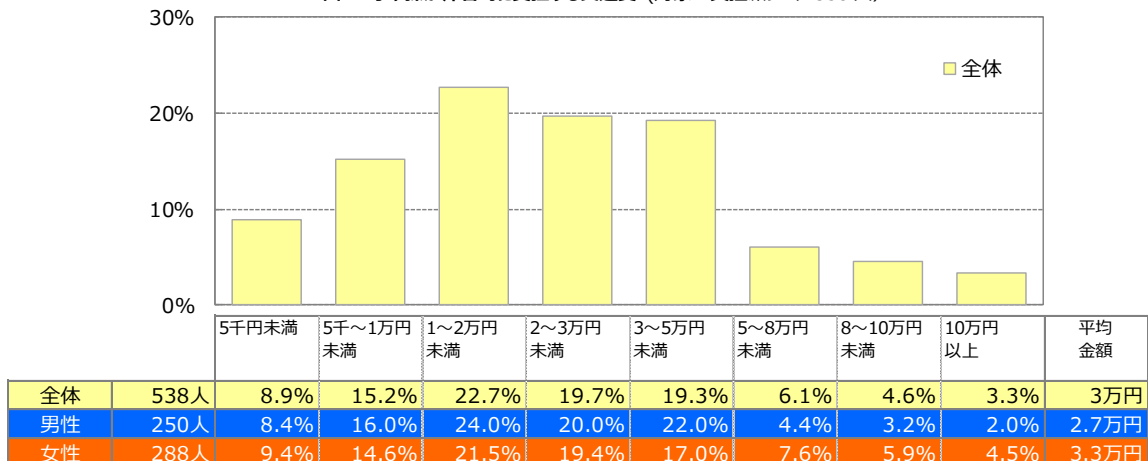


～シニアが負担する交通費の平均は 30,000 円！～

「子や孫の帰省時に交通費はいくら負担しているか？」を質問。

上記負担派シニアが、子や孫が帰省する時に、負担している交通費の平均は 30,000 円(前年比-1,000 円)。「1～2 万円未満」(23%)、「2～3 万円未満」(20%)、「3～5 万円未満」(19%)と計 62%が 1 万～5 万円を負担しているという結果になった。男女別では、男性シニアの平均支出額は 27,300 円、対して女性シニアは 33,100 円と女性シニアの方が平均で約 6,000 円多くお金を使っている。（【図 2】参照）

図 2 子や孫が帰省時に負担する交通費（対象：負担派シニア 538 人）



※本調査結果の数字は少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

2. 子や孫の帰省時には、お金を惜しまない！？ 今年も、女性は太っ腹！

～交通費以外の平均支出額は、去年から変わらず 48,000 円～

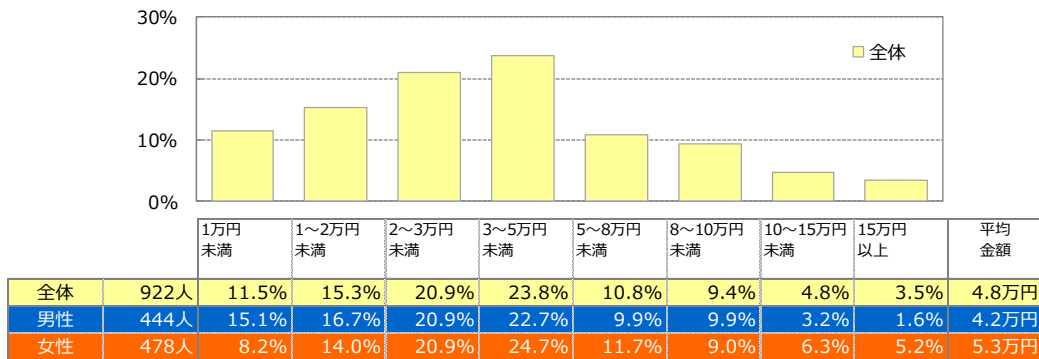
「子や孫の帰省時の交通費以外の負担額は？」と質問。

「帰省してくる子や孫がいるシニア」について、子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）は、「3～5万円未満」(23.8%)との回答が最も多く、次に「2～3万未満」(20.9%)が多い結果になった。（【図3】参照）

- ・全体平均予算 : **48,000 円**（前年同様）
- ・男性平均予算 : **41,600 円**（前年同様）
- ・女性平均予算 : **53,100 円**（前年比 1,000 円増）

女性シニアの方が男性シニアより平均で約 12,000 円多くお金を使っている。

図3 子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）（対象：今年、子どもや孫が帰省するシニア 922人）



※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

3. 孫へのお年玉相場は昨年から微増！ 関東のお年玉はアップなるも、依然、西高東低！

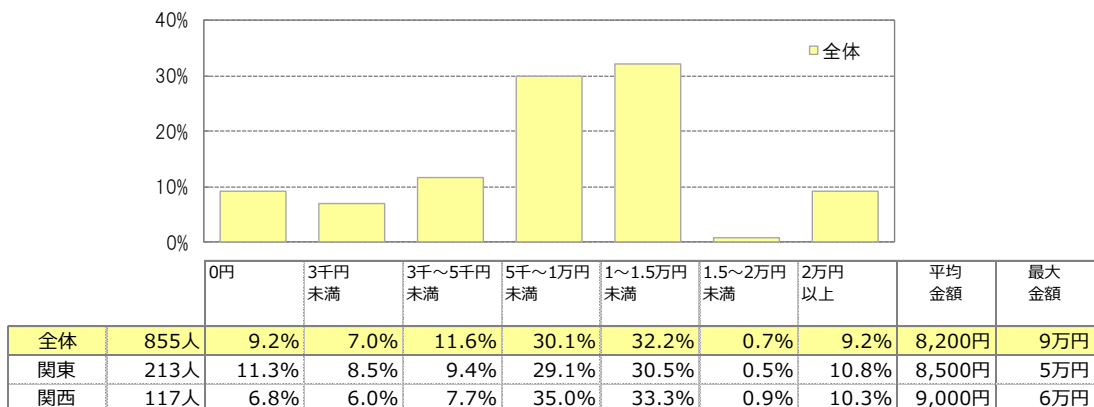
～孫へのお年玉の平均は、8,200 円。関西の方が関東に比べて 500 円高い～

「孫一人あたりのお年玉の金額は？」と質問。

孫がいるシニアについて、孫へのお年玉の金額（小学生一人あたり）は、全体の平均が 8,200 円（前年比 500 円増）。「1～1.5万円未満」(32.2%)との回答が最も多く、次に「5千～1万円未満」(30.1%)が多い結果に。最高額は9万円という回答も。関東（東京、神奈川、埼玉、千葉）のお年玉金額が、8,500 円（前年比 1,500 円増）と大幅アップ。一方、関西は 9,000 円（前年比 300 円増）と微増。昨年同様、関西の方が関東より高いが、その差が縮まる結果になった。（【図4】参照）

- ・関東平均（東京、神奈川、埼玉、千葉） : **8,500 円**（前年比 1,500 円増）
- ・関西平均（大阪、京都、兵庫、奈良） : **9,000 円**（前年比 300 円増）

図4 孫へのお年玉の金額（小学生の場合を想定、一人あたり）（対象：孫がいるシニア 855人）



※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

年代別では、70代前半が8,800円と多く、孫の年齢の影響か、年齢が若くなるほど少なくなっている。(60代後半9,100円、60代前半7,200円、50代後半6,100円) (【図5】参照)

図5 年代別の孫へのお年玉の金額 (小学生の場合を想定、一人あたり)
(対象：孫がいるシニア855人)

